

細田氏 懇談形式で説明へ

教団との接点 記者会見せず

世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関係が指摘される細田博之衆院議長は24日午後、議長公邸で与野党の代表者と懇談する形式で、教団との接点について改めて説明する。野党は記者会見などでの説明を求めていたが、昨年の臨時不十分との指摘が相次いで

国会に続いて応じない。

23日の衆院議院運営委員会の理事会で与野党が合意した。冒頭のみ報道機関に公開する。細田氏は昨年9月に文書で、10月には議運委のメンバーに非公開で教

いた。教団トップ・鶴子氏も出席した会合で、「会の内容を安倍(曾三元)総理に報告したい」などと述べた動画などを説明していない。立憲民主党の安住淳国会対策委員長は記者団に「やらないよりもやつた方がいい」と述べた。(安倍龍太郎)